

2019年7月1日

MBS メディアホールディングス

各位

本日、グループ社員集会を開催しました

当社は本日、毎日放送 A スタジオにおいてグループ社員集会を開催し、先月 20 日に発足した新体制や、前後して発足した新会社の事業内容や体制などについてグループ各社の社員に紹介しました。

梅本史郎新社長のあいさつと、新会社の概要は下記の通りです。

記

<梅本史郎新社長あいさつ概要>

おはようございます。2 年前、認定放送持株会社になる時に ①マスコミ集中排除原則の特例を受けて、複数の基幹放送事業を運営できる ②グループ各社の意思決定が早くなり、新規事業への進出が促進される という目的を掲げました。とりわけ後者について、ようやくいろんな分野でのチャレンジが目についてきたと感じます。

先月からきょうまでに 3 つの新しいグループ会社が誕生しました。ホームページやデータ放送、インターネット配信関連業務を行うピコリと、土地・建物・設備の管理を行う MBS ファシリティーズ、大阪市から指定管理業務を請け負った韮テニスセンターの運用を行う MGC パークパートナーズの 3 社です。また、すでにご承知の通り、去年 9 月に発足した MBS イノベーションドライブはホラーコンテンツ制作を行う「闇」を子会社化したほか、音声メディア制作会社や VR 制作会社など、すでにベンチャー企業 5 社に出資するなど、精力的に活動しています。

単に新会社を作ればいいわけではなく、歴史を持つ既存のグループ会社も活性化していかなければなりません。各々で連携が深まり、新しい動きが出てきていると聞いています。

1951 年のラジオ放送スタート以来、MBS グループはラジオとテレビの収入にかわる新しい事業を軌道に乗せることはありませんでしたが、みんなが気付いているように、このビジネスモデルにかつての輝きはありません。

2030 年に近畿圏の人口は今の 92.8%に減少すると予測されています。売上がこの比率で減少し、費用が変わらなければ 15 億円の営業赤字になるという試算もあります。私は人口減少と首都圏一極集中の弊害をずっと言い続けてきましたが、首都圏だけでなく他の大都市圏より近畿圏の人口減少傾向が強く、とりわけ若者の減少が顕著だということに、強い危機感を持つ必要があります。

しかし我々はものづくりを担うコンテンツ制作集団であることを変えるつもりはありません。今後も地域を越えて日本全国、世界を見据えてコンテンツを制作し、最新の技術を使っ

て発信していきますし、中核会社の毎日放送は、報道機関であり続けます。ただ、それを維持するには放送に代わる、あるいは並び立つ収益基盤を今まさに確立しなくてはならない時期だということです。

昨年策定したグループ経営ビジョンでは、2021年度の連結売上800億円、営業利益40億円を掲げましたが、2018年度はそれぞれ715億円、34億円とまだ隔たりがあります。新しくスタートしたグループ各社が当初事業計画を順調に達成しても、おそらくこの隔たりは埋まりません。この隔たりを埋めるため、これまで以上に各社横の連携を意識していただきたい。グループ各社の強みは何か、それを活かすことで放送以外に新しい道が開けるのではないかと強く意識していただきたいと思います。

我々経営陣も、グループ内に芽生えてきた新しい事業への挑戦を後押しするとともに、隔たりを埋める努力を持続しなくてはならない、と考えています。

<新会社3社の概要>

会社名：株式会社MBS ファシリティーズ

株主資本：資本金5,000万円/株MBSメディアホールディングス100%出資

設立：2019年6月3日

代表取締役社長：西村亨(株毎日放送 前総務局長)

事業内容：MBSグループの不動産、施設および設備管理業務

会社名：株式会社ピコリ

株主資本：資本金500万円/株MBSメディアホールディングス100%出資

設立：2019年7月1日

代表取締役社長：吉田浩二(株毎日放送 前コンテンツビジネス局ITビジネス部長)

事業内容：番組ホームページやデータ放送の制作および運用、テレビ番組のインターネット配信関連業務

会社名：MGCパークパートナーズ株式会社

株主資本：資本金950万円/株毎日放送48.9%出資

設立：2019年6月17日

代表取締役社長：新開恒平(株毎日放送 経営戦略室エグゼクティブ)

事業内容：靱テニスセンターを活用したスポーツクラブ運営、イベントの企画および運営、飲食業他

以上

本件問い合わせ先：株式会社MBSメディアホールディングス広報部

06-6359-1123(代)